

□議員名：岡山 明

1 軽自動車税への課税免除について

論点	自動車販売店で展示、在庫されているいわゆる、商品であって使用していない軽自動車税への課税は免除できないか。
回答	地方税法で自治体の判断になるが、ナンバープレートが付いた軽自動車には課税している。当面は現状通りとし、県内外の自治体の動向を注視する。

論点	軽自動車税への課税免除、他の自治体の状況はどうか。
回答	現在県内13市のうち8市が、商用車の課税免除について条例を定めていない。ただし当該自治体におきましては、商品車とは、ナンバープレートのついていない軽自動車等の認識のため、ナンバープレートがついた軽自動車等については課税免除の実績はない。

論点	課税免除については、地方税法で、自治体の判断により課税免除を行うことができるものとされているがどうか。
回答	商品車であっても、ナンバープレートがついた軽自動車等については、いつでも道路を走行できる状態であることを考慮すると、一般市民が所有する軽自動車等と同じであり、課税を不相当とする公益上、その他の事由を明確に見出すことは困難だと考える。

2 市道の道路整備について

論点	路面下空洞探査のための地中レーダー技術を用いた調査方法がある。技術的根拠のもとで安全を保障することが大事ではないか。
回答	市では一部路線を除いて計画はしているが、実施に至っていない。必要性は十分認識しており、国の交付金事業を活用しながら予算確保に努め、年次的に実施して安全な通行を確保したい。

論点	災害時の緊急輸送道路や、災害拠点病院である山口労災病院等への連絡道路は大丈夫か。
回答	病院に関しての拠点は山口労災病院という位置付けになっている。主要な防災拠点として、第1次緊急輸送道路の位置付けがされている。

	る。また、病院導入路も防災上の整備観点から第2次緊急輸送道路の指定がされており、優先順位の高い道路として管理している。
--	---

論点	市民病院は1次、2次緊急輸送道路の対象外であり、防災面からすると優先度が低いが、市民の命を守るべき市民病院は大丈夫か。
回答	本市にとって重要度の高い医療機関、施設だと考えている市民病院へのアクセス道は全て市道になっている。橋梁部分及び道路等については、地震に対する調査を実施している。即時崩壊とか、即時補修が必要といった診断結果にはなっていない。

論点	今後交通量の増加が見込まれる公園通りから山口東京理科大学までの安全対策は大丈夫か。
回答	この区間の市道はブロックで両サイドに歩道が設置され、安全は確保されている。区画線が薄くなっている部分は引き換えを実施する。県道については県、公安委員会に要望していく。

3 投票環境の改善に向けて今後の取組について

論点	公職選挙法等の一部を改正する法律を受けて、共通投票所を設けることができるが、本市の対応はどうか。
回答	共通投票所を設ける場合には、二重投票を防止するための措置として、全ての投票所及び期日前投票所を相互に結ぶネットワークの構築及び選挙人の投票の有無を把握するための選挙システムの導入が必要になる。費用等から総合的に判断すると難しいと考える。

論点	一部改正を受けて、期日前投票時間、投票所入場者年齢の拡大対応はどうされるのか。
回答	時間帯ごとの投票状況を見ると、投票所を閉じる前1時間の投票者数は、1日の1時間平均の30%から40%である。費用や負担に見合うだけの効果は期待できない。年齢に関しては、投票所の秩序保持が出来れば、改正法の規定どおりの取り扱いで進めたい。

論点	今回、宇部市は大型商業施設に期日前投票所を設置するが、本市の対応はどうか。
回答	投票環境の向上につながるが、投票の秘密の確保や投票所内の秩序保持、突然の選挙への対応、人員の配置、期日前投票システムの安全運用、設置費や運営費等を総合的に判断すると、当面設置の予定はないという考えに変更はない。